



尾身幸次

STS フォーラム創設者兼理事長
元財務大臣、前衆議院議員

1932年、群馬県に生まれる。

1956年、一橋大学商学部卒業後、通商産業省に入省。

1970年～1974年、在ニューヨーク総領事館領事。1973年の第一次オイルショック当時、エネルギー関連の世界的情報の収集に努め、ニューヨークの情報通として評判になった。

帰国後、通商政策局南アジア東欧課長、中小企業庁小規模企業政策課長、科学技術庁官房総務課長、中小企業庁指導部長を歴任。

1982年に通商産業省退官後、衆議院選挙に立候補。1983年の初当選を皮切りに、26年間衆議院議員として活躍する。衆議院議員として、大蔵政務次官、自由民主党商工部会長、自由民主党科学技術部会長、衆議院大蔵委員長、自由民主党総務局長、自由民主党幹事長代理を歴任した。

また、経済企画庁長官（1997年～1998年）、沖縄及び北方対策担当・科学技術政策担当大臣（2001年～2002年）に続き、2006年9月から2007年8月まで安倍内閣において財務大臣を務めた。

日本の政界における科学技術分野の第一人者として知られ、1995年には科学技術基本法制定の中心的な役割を担い、科学技術立国の推進に大きく貢献した。

沖縄及び北方対策担当・科学技術担当大臣を務めた際に、国際的かつ世界最高水準を目指す沖縄科学技術大学院大学の設立を提唱して、以来、強力に推進している。

科学者、政治家、財界人が年1回京都で一堂に会し、科学技術の「光と影」について話し合う『科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）』を2004年に創設し、その理事長を務める。

20代に結核を患い、中村天風先生に師事し、「心身統一法」により病気を克服することに成功した。その縁で現在、財団法人天風会の理事長に就任している。

長年にわたる科学技術分野における功績にたいして、2013年マレーシア工科大学、2014年1月英国ヨーク大学、同6月にはカナダ・ケベック大学から名誉博士号を授与されている。